



くわしく
はコチラ



大年田市

ともだちや絵本美術館



はしもとみお

MIO HASHIMOTO

巡回展

いきものたちの物語

2024.8/23(金) → 9/29(日)

※展示入れ替えのため、8月16日(金)～22日(木)の期間、ギャラリーを閉鎖します。

し、きおのた
ちの物語

2024-25

彫刻家ははしもとみおは兵庫県で生まれ育ち、15歳のときに阪神淡路大震災に遭いました。このことが大きなきっかけとなり、動物たちの生きた証を、彫刻によって残す、彫刻家という道を選びました。

絵本『トゲトゲ』は、はしもとみおが大学生のときに描いた物語です。大好きな友達が、「うちは、世界のトゲになる!」と言ったことをきっかけに誕生。ちょうど20年目にあたる2023年、すべての絵を描き下ろし、名久井直子さんの装丁デザインにより新たに制作しました。きっと誰もが“トゲトゲ”のような部分があって、出逢い、与える、そんなことで癒されていく。『トゲトゲ』は、子どもはもちろん、大人にも味わってほしい絵本です。

絵本『おもいででいっぱいになったら』は、実話にもとづき描かれました。震災のあと、実家の木にぶら下がるミノムシを見て、神様だと思ったそうです。数年後に保護した猫のトムくんとの日々を、自分の気持ちと重ね合わせて綴っています。



動物の木彫りの彫刻家・はしもとみおの巡回展を
“大牟田市ともだちや絵本美術館”で開催します。

MIO HASHIMOTO



KISSA BOOKS



A『トゲトゲ』表紙 B『おもいででいっぱいになったら』表紙
C・D 猫のトムくんの彫刻 E・F『トゲトゲ』原画



- 1 『トゲトゲ』の原画
- 2 『おもいででいっぱいになったら』主人公・猫のトムくんの彫刻
- 3 内田麟太郎<文>さんと、はしもとみお<彫刻>の最新刊絵本『ともだちのなまえ』(教育画劇)のなかの彫刻と背景画
- 4 『はじめての木彫りどうぶつ手習帖』(雷鳥社)の見本彫刻
- 5 『きみがいるから』(マイクロマガジン社)くさかみなこ<作>、はしもとみお<絵>の原画



PROFILE
はしもとみお [彫刻家]

三重県の古い倉庫にアトリエを構え、動物たちのそのままの姿を木彫りにする。材料はクスノキ。この世界に生きている、または生きていた動物たちをモデルにし、その子にもう一度出逢えるような彫刻を目指している。全国各地の美術館で個展を開催中。主な著書に『トゲトゲ』『おもいででいっぱいになったら』(KISSA BOOKS)、『はじめての木彫りどうぶつ手習帖』(雷鳥社)、『はしもとみおの木彫り教室 暮らしによりそうどうぶつたち』(KADOKAWA)、『はしもとみお猫を彫る』(辰田出版)などがある。

田中千智 [画家]



Photo by Miyuki Tsudou

むぎ(猫) [ミュージシャン]



オープニングイベント

8/24 土 14:00-15:30

のんびりトーク「作家になったふたりのはなし」
はしもとみおさんと画家・田中千智さんとのトーク

8/25 日 14:00-15:00

むぎかっこねこ
わくわくライブ「むぎ(猫)よみきかせライブ」
猫のミュージシャン・むぎ(猫)さんと、はしもとみおさんによる絵本のよみきかせと音楽のライブ

